

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員で全ての児童のよさを見つけ、価値付け、方向付けることで、自己肯定感を高める。 ・「ふるさと学習」を核に体験重視の教育活動、教育DX、主体的、対話的で深い学びを推進する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員で全児童を育てるという意識の醸成を図った。児童の自己肯定感や自己有用感の向上につながった。 ・英語科を含む様々な教科領域等で地域との連携や体験的な学びを大切にしながら、アウトプットできる機会も設定することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主性を重んじる校風がよい。 ・地域との大人との対話は、コミュニケーション力や他者理解を育む場となり、非認知能力の向上となっている。 ・地域で働く姿に触れることで、将来の自分を思い描ききっかけになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、子どもたちが「自分には価値がある」「挑戦してみよう」と思える自己肯定感を育むために、称賛の組織化を図る。 ・体験させる活動から、自分たちで決め、やり切ったと実感できる活動を実践する。
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の資源や人材、保護者サポーターを積極的に活用し、教育活動の充実を図る。 ・小中、また幼小の職員が情報交流する機会を積極的にもち、連携して児童生徒を育てる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な教育活動や校外学習で、地域の方や保護者サポーターに支援していただいた。子どもたちや学校の様子を見ていただくいい機会にもなった。 ・小中間で相互の研修会に参加したり、幼小連携協議会を開催したりすることで、連携体制を構築した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域が連携し、多様な大人が子供たちの学びにかかわることで、教室だけでは得られない、「生きた学び」ができた。 ・小学校での教育活動を中学校や幼稚園、保育園の先生方が知ることは、とても大切でありこのように連携されていることはすばらしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、子どもたちにとって豊かな学校生活、教育活動になるよう、保護者や地域の方との連携を高める。 ・小中、幼保小の連携を深め、情報交流や学び合いを高める。
あたたかさや働きがいにあふれる学校づくりにあふれる学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・心理的安全性を高める研修を実施し、職員が安心して勤務できる体制を整える。 ・職員同士が互いの「強み」を生かし合いながら業務を遂行できるようにする。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間においては、互いの様子や状況に心を配り、サポートし合うことができた。 ・職員が強みを生かして自主的な研修を実施したり、日常的に互いに学び合うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の働き方や多様性そのものが子どもたちの学びにつながっている。教職員のライフスタイルや働き方を通じて、子どもたちが社会の多様性を自然に学べる環境となっている。 ・先生たちの個性を生かし、子どもたちとかがわってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童、保護者、地域そして職員にとって、あたたかさや安心感のある学校でありたい。 ・今後も、職員同士互いの強みを生かし合う実践を進める。
子どもたちが安心して学べる学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての児童の成長を促す指導、生徒指導事案発生時には組織的に迅速に対応する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりを大切にする指導を心がけるとともに、生徒指導事案には、迅速に情報共有を図り組織的に対応した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方が子どもたち一人ひとりに寄り添い、あたたかく細やかに向き合っている。 ・子どもたちは、学校が楽しく、安心して登校できている。 ・学校と保護者や地域との関わりが、生徒指導事案の未然防止につながる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心の見える化を柱に取組を進める。 ・健康で安全な生活に関する指導を、様々な場で継続的に行うとともに、職員研修を充実させ、教職員の意識を高める。
災害、事故に対する安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的かつ実態に即した命を守る訓練、交通事故、不審者などについての指導を随時実施する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・命を守る訓練について予告の有無を含めて様々なパターンで実施したり、不審者対応訓練を実施したりできた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災教育について、学校・家庭・地域が連携し、校区全体で災害を自分ごととして捉え、「自助」および「共助」の意識を高める。取組が実践されることを期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・家庭・地域が連携した取組を強化する。校区全体で災害を自分ごととして捉え、「自助」および「共助」の意識及び、日常的な安全指導と避難訓練の質を高める。また、教職員研修を充実させ、教職員の意識向上を図り、安心の見える化を高める。
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員による日常的な教育環境の整備、安全管理、財務管理に努めると共に、毎月の点検を確実に行う。 ・CS機能を生かして多様な意見を吸い上げ、改善すべき点について迅速に対応する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎内外の整備、整理整頓を行った。毎月、安全点検を実施し、不良箇所については早急に対応した。日常の財務管理についても、複数の目で確認し、確実に実施できた。 ・様々な機会を通して地域や保護者の意見を把握できるようにし、学校経営への反映に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境整備、安全管理に勤められている。また、財務管理も適切に行われている。 ・CSでは、学校・家庭・地域の様子や学校経営、学校評価等に対する意見の交流を行い、改善すべき点について対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、全職員による日常的な教育環境の整備、安全管理、財務管理に努める。 ・今後も、CS機能を生かして改善すべき点について迅速な対応にあたる。

HPアドレス: